

<p>各政党の気候・エネルギー政策 選挙公約比較</p>	<p>自民党 新しい時代を 皆さんとともに</p>	<p>公明党 KOMEI TO 小さな声を、 聴く力</p>	<p>立憲民主党 The Constitutional Democratic Party of Japan 変えよう。</p>	<p>日本共産党 なにより、いのち。 ぶれずに、つらぬく</p>	<p>日本維新の会 身を切る改革、 実行中。</p>	<p>国民 民主党 こく みん つくろう、 新しい答え。</p>	<p>れいわ 新選組 なにがあっても 心配するな。 <small>そんな国をあなたとつくりたい</small></p>	<p>社民党 生存のための 政権交代</p>
<p>気候変動政策 2030年度削減目標（2013年度比） 省エネルギー</p>	<p>✕ 46%削減 50%の高みを目指す</p>	<p>✕✕✕ 46%削減</p>	<p>○ 55%以上削減</p>	<p>○ 50~60%削減 (2010年度比)</p>	<p>✕✕✕ 46%削減</p>	<p>✕✕✕ 2030年目標の明記なし</p>	<p>△ 2030年までに半減</p>	<p>○ 60%削減</p>
<p>原子力政策 再稼働 次世代炉など 核燃料サイクル</p>	<p>✕✕✕ 再稼働を推進 新型炉を開発</p>	<p>✕ 再稼働は条件付き 将来的には脱原発依存 核燃料サイクルは進める</p>	<p>△ 再稼働は条件付き 一日も早く原発ゼロへ 核燃料サイクル中止の方向</p>	<p>◎ 再稼働はせず 2030年までに脱原発 核燃料サイクルから撤退</p>	<p>✕✕✕ 次世代炉を進める</p>	<p>△ 再稼働は条件付き 将来的には脱原発依存 40年運転制限</p>	<p>◎ 原発は即時禁止</p>	<p>○ 原発ゼロ基本法を 成立させて脱原発 核燃料サイクルは中止</p>
<p>石炭火力発電 化石燃料 石炭火力廃止の有無 水素・アンモニア、CCUS</p>	<p>✕✕✕ 引き続き活用 新技術開発を前提</p>	<p>✕✕✕ 引き続き活用 新技術開発を前提</p>	<p>✕ 石炭火力発電から転換 新技術は検討</p>	<p>○ 2030年までに石炭火力ゼロ CCUS やアンモニア・水素 などには頼らない</p>	<p>✕✕✕ 容量市場の見直しのみ記載</p>	<p>✕✕✕ 詳細記述なし</p>	<p>○ 2030年までに 石炭火力ゼロ</p>	<p>○ 2030年までに 石炭火力ゼロ</p>
<p>再エネ 2030年度導入目標 2050年度導入目標</p>	<p>✕ 最大限導入し主力電源化</p>	<p>✕ 最大限導入 2030年度電力36-38%</p>	<p>○ 2030年電力50% 2050年電力100%</p>	<p>○ 2030年電力50% 2050年電力100%</p>	<p>✕ 再エネ割合を拡大する</p>	<p>✕ 2030年代に電力で 再エネ40%以上</p>	<p>◎ 2030年電力50% 2050年のエネルギー供給で 自然エネルギー100%</p>	<p>○ 2030年電力50% 2050年電力100%</p>